



社民党第二〇回定期全国大会

その後、鹿屋に新たな無人偵察機が配備と言わ

「新しい戦前にはさせない平和力の結集」のメインスローガンのもと、代議員一三五名参加の全国大会が二月二三・二四日の両日、東京・星稜会館で開催されました。

福島党首は、この大会が社民党の意義、役割を確認し、金権腐敗政治追放、自民党政治打倒、政権交代実現に向けた全国的な草の根運動の先頭に立っていく心合わせの大会にしようと挨拶されました。

服部幹事長より各報告案件と活動方針が提起され質疑が行われました。

特徴的な意見は、

○佐世保市で自衛隊水陸機動団と米海軍の合同パレードが行われ、自衛隊は小銃を携帯し商店街をパレード。これに抗議した市民を取り囲んだパレードを容認する市民



○群馬県高崎市「群馬の森公園」にあつた朝鮮人労働者追悼碑が行政代執行によって強制撤去された。この碑は、市民と在日コリア



れている。

○敷戸弾薬庫に大型弾薬庫九棟新設する計画（建設に着手）湯布院駐屯地を「第二特科団」に格上げし、湯布院を軸に南西諸島の防衛強化が図られる。

基地問題以外にも農業・食料自給率・地方交通・生活実態を踏まえた意見が出されました。

意見を聞

きながら戦争のできる国づくりが着々と進められ、そして表現・言論の自由の抑圧が増々厳しく強まっている事を感じた。



福島党首は、戦争ではなく、平和で安心できる社会、人々が主人公である社会をつくるべき歴史の転換点に今まさに立っている。私たち社民党が反戦・平和の闘いの先頭に立たねばなりません。この決意を具体的にするために、来るべき衆議選において新垣邦男氏の再選と九州比例一議席・五議席獲得を必ず実現しようと決意表明しました。

県連合幹事長 馬場 徳明

許すな！憲法改悪 市民運動全国交流集会

2月23日に名古屋大学飯島教授による「永遠の戦後を求めて」の講演がありました。この講演は大分県平和運動センターと県労連の共催によるものです。今の自民党政治のあり方をなんとか変えていきたいという全国で行われている「総がかり行動」の一環で大分県でも党派を超えた取組みをすることができました。

今後も「敷戸ミサイル弾薬庫問題を考える市民の会」は、いろんな団体と共闘し活動を上げていきます。

毎月1日と15日は大分駅北口にて16時半よりスタンディング行動を続けています。3月24日14時からコンパルホール300号室にて大分県の至る所が対象になる「土地規制法問題の学習会」を計画しています。

人生は意外と永い！

まだまだこれから一緒に頑張っていきましょう！

小野よしみ



祝 百寿

村山富市元首相 奥様とともに



100歳の実感はないが家族と暮らせる事に幸せを感じている… ストレッチしたり体づくりも… 日本が平和な国であり続ける事を願っている…

全国連合からのインタビューに答えて

2月9日（金）村山元総理宅を馬場幹事長と私で訪問しました。3月3日で百寿を迎えるので、党として祝う会を開催したいとの思いをお願いにお伺いしましたが、娘さんから母がお世話になっている施設から「ご夫婦そろって百歳を迎えるのは初めての事なので、是非こちらでお祝いをさせて戴きたい」と申し出があり、お受けしたそうです。社民党としてのお気持ちは大変有り難いのですが遠慮させて下さい。との事でしたので、残念ながら祝賀会を取りやめることにして県連合からお祝いの品を贈ることにしました。

私たちの顔を見るとニコッと笑う村山さんと握手を交わし、いつまでもお元気でいて下さいと激励しました。

大分市議会議員 高野 博幸

永遠の戦後を求めて

後期高齢者の仲間入りをした今日、安倍政権下、軍拡路線の基、安保法制三原則強行採決を許したその後がどうなっていくのか確かめたくて、二月二十三日、奇しくも天皇誕生日の休日に開催された「飯島滋明」(名古屋大学教授・戦争をさせない)の講演を聴きにアイネスに向かった。

今まさに私たちの目の前に繰り広げられている敷戸弾薬庫拡充や湯布院駐屯地部隊拡充等々が、全国的にあらゆる場所で強化されている実態を聴き驚愕させられた。

自公政権が進めてきた「戦争をする国づくり」、国民を守る国ではなく先に他国を攻撃する国、戦争継続のための政治、経済、社会体制の構築、その為の軍事費増額・反政府言動の抑圧、まさに戦前回帰へと岸田政権下で進められている実態を具体例で示された。



市民運動等、あらゆる手段でこの実態を広めて反戦・平和の活動を強化しなければならぬと肝に銘じた。

宗方支部書記長 田中健一

対馬市 核ゴミ持ち込み 反対市長圧勝!

開票結果	
有権者数	23,674 人
投票者数	15,270 人
投票率	64.5%
前回投票率	63.2%
当 比田勝尚喜	13,306 票
荒巻靖彦	1,725 票

三月三日、投票された長崎県対馬市長選で比田勝尚喜氏が「核のゴミ推進候補」荒巻氏を圧倒的票数差で再選を勝ち取りました。

核のゴミ最終処分場選定の前の段階の「文献調査」を認めないという対馬市民の画期的な勝利です。

毎週火曜日 7時30分よりスタンディング

湯布院駐屯地、大分分屯地が超強化拡大されようとしている現状の中、なんとしてもストップさせなければ!

西大分支部は毎週木曜日、大分駅北口で、高野市議を中心とした党員は、田尻交差点で毎週火曜日朝立ちを行っています。



地震大国日本を守れ! 小野よしみが吠える~!

新年早々に能登半島地震、1ヶ月以上経つけれども酷い状況は続いています。先日、社民党の全国連合が輪島市・珠洲市周辺を視察してきた。避難所はトイレなど今だに不便な様子。県や国はどんな救援を行っているのか疑問に思う。災害時の備えがあまりにもお粗末すぎるのではないかとおぼろげな得ない。ライフラインが使えないことを前提に、国は災害時の備えを充分にしてきたのだろうか。行き当たりばったりにししか見えないのは私だけだろうか?

2027年までに膨大な43兆円もの税金を軍事費に費やすのではなく、地震大国日本、地震があった時の備えが優先順位の1番ではないでしょうか。それと志賀原発が稼働していなかったことはついていたとしかいえない。そして活断層



4m 海底隆起した輪島港

の上にあると言われる伊方原発の稼働差し止め裁判は、3月7日に判決が出ますが、何としても伊方原発の稼働差し止めを勝ち取りましょう!



※1989年 珠洲地区労、社会党珠洲支部が中心となって、「止めよう原発! 珠洲市民の会」を結成。関西電力の原子力発電所建設に長年にわたって住民と反対闘争を繰り広げ、建設を阻止してきたことの意義は大きい! 反対闘争が勝利していなければと考えると、ぞっとする。

党員・党友 自己紹介

宗方支部の長良一です。この世に生を受け66年! 家族・まわりの仲間を支えられて何とか生きています。



社民党と立憲民主党が合併することになれば社民党を離党するしかないと考えていましたが、3つの選択肢があり、社民党に残るか・立憲にいくか・離党するか...と言うことでしたので社民党に残る決意をして宗方支部所属となりました。

宗方支部には中央地区労青年協時代の仲間や、社民党県連合には国労の先輩方もいるので心強く、微力ではありますが党活動に頑張っています。

国労青年部時代から社会党の各種選挙を多くの仲間と一緒に闘ってきました。これからも真面目に働く労働者の生活を豊かにするため、そして若者たちに平和な明るい世の中を引き継ぐために、微力ではありますが活動していきたいと思えます。

宗方支部事務所にて毎月開催される支部会議には勤務の関係で参加できないこともありますがLINEを活用して情報の共有を図っています。

余暇は野菜作りに励んでいます。今から春ジャガを植える用意をします。

